

令和6年4月8日(月) 令和6年度 第1号



さいたま市立泰平中学校

学校だより

さいたま市北区本郷町 1991 電話：048 (651) 4134

【教育目標】

豊かな心を持ち実践力のある生徒の育成

【目指す生徒像】

季節の花と明るい挨拶にあふれ、  
生徒一人ひとりの夢と生きる力を培う学校  
—大好きTAIHEI—

## 「校訓」

校長 宮内和典

桜の花の開花とともに、新年度が始まりました。

生徒の皆さん、そして、保護者の皆様、入学・進級おめでとうございます。この度、第19代校長として着任しました宮内 和典(みやうち かずのり)と申します。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

さて、令和6年4月8日(月)に始業式、入学式を無事に挙行することができ、新たに133名の新入生を迎え、全校生徒数392名、教職員47名でのスタートになりました。新年度を迎え、生徒の皆さんも、「気持ち新たに」決意を胸に、入学・進級したことと思います。そこで、本校の校訓を今一度確認していきたいと思います。本校の校訓は、「礼を正し 場を浄め 時を守る」ですが、この言葉は、哲学者であり教育者である森信三先生教えの一つであると言われています。

まず、その意味としては、「礼を正し」とは、挨拶や返事をするということです。毎朝、挨拶をしてくれる人、気持ちのよい返事をしてくれる人へは、自然と好感や安心感を抱き、「人と良好な人間関係をつくる」ことにつながります。

次に「場を浄め」ですが、掃除のことを指しており、主体的に掃除をしていると「こんな所が汚れている」と気づき生まれ、その気づきから一工夫がなされ、自然と「人のために尽くす」という思いが育まれます。

最後に、「時を守る」は時間を守るという意味ですが、期限を守ることや待ち合わせの時間に遅れないなどということです。しかし、ここで大切なのは、相手がいるということで、時間守れないということは、相手の時間を奪うことになります。ようするに「時を守る」ということは「人を尊重する」こととも言えます。

学校は集団生活の場ですので「礼を正し 場を浄め 時を守る」場面が多くあります。生徒の皆さんには、この校訓の意味を大切にして「気持ち新たに」、新年度のスタートを切ってほしいと思います。

### 【保護者・地域の皆様へ】

本校では教職員一同、生徒たちの成長を願い、真剣に議論して教育活動に取り組んでおります。言うまでもないことですが、教育とは学校だけで成り立つものではありません。今後も、家庭や地域の方の御理解と御協力をいただきながら、教育活動を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

